

二元一次方程式 $2x + y = 5 \dots \textcircled{1}$

こんな式をどこで見ましたか？ 「連立方程式」

「連立方程式の片方の式はこんな式でした。」 「方程式には何がある？」 「解」

この解についての次のようなことを考えましょう。

どりようにならんでいるかな？

「どのようにならんでいるかな？を読んでください。」

(1) 解を求めましょう。

$(-1, \square)$	$-2 + y = 5$	$y = 7$	$(-1, 7)$	
$(\square, 5)$	$2x + 5 = 5$	$x = 0$	$(0, 5)$	
$(0.5, \square)$	$2 \times 0.5 + y = 5$	$1 + y = 5$	$y = 4$	$(0.5, 4)$
$(\square, 3)$	$2x + 3 = 5$	$2x = 2$	$x = 1$	$(1, 3)$
$(2.5, \square)$	$2 \times 2.5 + y = 5$	$5 + y = 5$	$y = 0$	$(2.5, 0)$
$(\square, -1)$	$2x - 1 = 5$	$2x = 6$	$x = 3$	$(3, -1)$

まだまだありますね。 二つ言ってください。

$(4, -3)$ $(2, 1)$

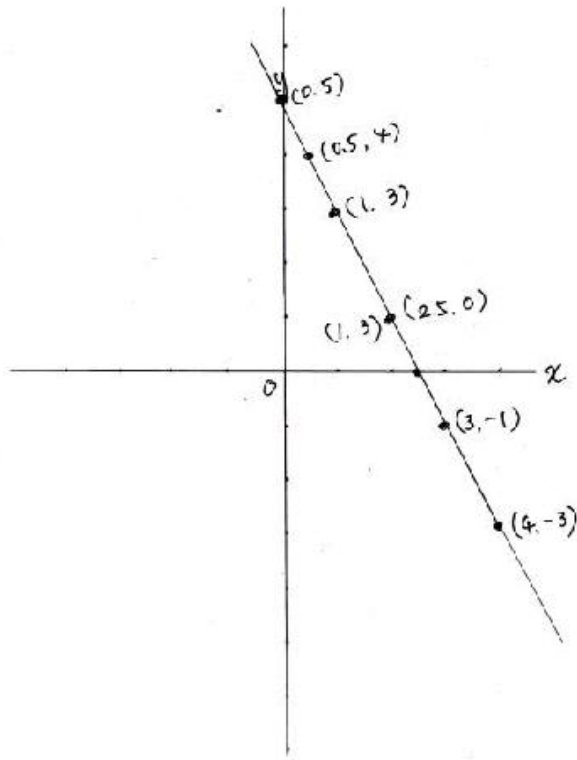
(2) これを座標として点をとるとグラフになるんです。

一緒にやってみましょう。

これって今まで学習してきた一次関数のグラフ

切片5傾き-2なので

$y = -2x + 5 \dots \textcircled{2}$



習ってすんだことを使いましょう。「等式の変形」「yについて解く」

①の式 $2x + y = 5$

$$y = -2x + 5 \dots \textcircled{2}$$

①の式のグラフを書くことは、等式を変形して一次関数②のグラフを考えること

とまったく一致するんです。

こうやってできたグラフを「方程式①のグラフ」といいます。

また逆に $2x + y = 5$ を「この直線の式」ともいいます。

問1 「問1を読んでください。」

(1) $x - 2y = 6$

$$-2y = -x - 6$$

$$\frac{-2y}{-2} = \frac{-x}{-2} + 3$$

$$y = \frac{1}{2}x + 3$$

切片 + 3

傾き $\frac{1}{2}$

(2) $4x + 3y = 0$

$$3y = -4x$$

$$y = -\frac{4}{3}x$$

切片 0

傾き $-\frac{4}{3}$

